

住民避難回避！

避難判断水位の一步手前に食い止めることが出来ました

平成 24 年 6 月 20 日～22 日の降雨における中筋川ダムの効果について（速報）

6/20より降り続いた雨により、中筋川の磯ノ川地点（高知県四万十市有岡付近）の水位は、7.40mの避難判断水位の一步手前となる7.16mに達しました。

もし中筋川ダムがなかった場合、さらに約40cmの水位の上昇があり、磯ノ川の水位は7.56mに達し、避難判断水位を超えていたと推定されます。

この避難判断水位とは、市町村長が発令する避難勧告等の目安となる水位のことです。

- 渡川水系中筋川ダム上流域において、6月20日22時～6月22日4時にかけて累計252mm（時間最大28mm）の降雨となり、ダム管理開始（H11年4月）以降における6月の降水量の平年値（369mm）の約7割の雨量を記録した。
- 6月20日11:30～6月21日17:00までの事前放流の実施により、288,000m³の容量を追加で確保した。
- ダムにより約120万m³（高知県庁庁舎の約15杯分）の水を貯留し、磯ノ川地点（高知県四万十市有岡付近）では約40cmの水位を低下させ、避難判断水位超過を抑えることが出来たと推定される。



※事前放流とは、雨の多い時期に台風などによる大雨が予想される場合、ダムに貯まった水を予め流して貯水位を下げて、貯め込む容量を増やすための防災操作

平成 24 年 6 月 22 日

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所
電話（0880）66-0142
副所長 弘田 淳一 内線（204）
調査・品質確保課長 高橋 弘 内線（351）

渡川水系 中筋川ダムの効果（平成24年6月 前線）

- 渡川水系中筋川ダム上流域において、6月20日22時～6月22日4時にかけて累計252mm（時間最大28mm）の降雨となった。ダム管理開始（平成11年4月）以降における6月の降水量の平年値（369mm）の約7割の雨量を記録した。
- 6月20日11:30～6月21日17:00までの事前放流の実施により、288,000m³の容量を追加で確保した。
- ダムにより約120万m³（高知県庁庁舎の約15杯分）の水を貯留し、磯ノ川地点（高知県四万十市有岡付近）では約40cmの水位を低下させ、避難判断水位超過を抑えることが出来たと推定される。

